

## 平成24年度 公益社団法人北海道鍼灸師会 公益活動報告

1. 日時 平成24年8月19日（日）13:00～15:00

場所 札幌サンプラザ

事業内容

「脳血管に関わる手術では日本一」「匠の手を持つ脳外科医」とも呼ばれ、全国から患者様が訪れるようになった禎心会脳疾患研究所所長の上山 博康先生をお招きして、『私が成し得たこと！成し得なかったこと！』の演題で道・市民公開講座を行った。

開場前からたくさんの市民の方が来場され、大盛況にて公開講座を終えた。

2. 日時 平成24年8月26日（日）10:00～16:00

場所 北海道鍼灸専門学校附属鍼灸臨床実習センター

事業内容

北海道鍼灸専門学校が主催するチャリティーはり・きゅう治療に、鍼灸の普及・啓蒙という目的に賛同し、共催として参加した。

当日は、24名の患者さんが来院し、一律1,000円の治療費はその全額を支援金として20～25日に学校が行ったチャリティー治療の収益金とともに日本赤十字社に届けた。

参加スタッフ5名のほかに、北海道鍼灸専門学校附属鍼灸臨床センターのスタッフ2名、北海道鍼灸専門学校の教員3名、数名の学生ボランティアスタッフと共に治療を行った。

3. 日時 平成24年9月23日（日）10:00～15:00

場所 高林デパート地下1階

事業内容

滝川市主催の「市民健康まつり」に参加。19あるブースの中の1つに「鍼灸師会」として、はり灸相談・体験コーナーを設け、来場者にはり治療に対する理解を深めるべく相談に応じ、はり治療を体験してもらいました。（残念ながら会場の都合できゅう治療はできなかった。）

はり・きゅうコーナーを訪ねて下さった市民 約400名

鍼治療を体験された方 111名

参加スタッフ 10名

4. 日時 平成24年10月14日（日）9:00～15:00

場所 釧路市観光国際交流センター

事業内容

くしろ健康まつり会場1ブースで、はり・きゅう体験コーナーを実施した。

高校生から高齢者まで 121 名の市民が体験し、待ち時間 30～40 分と大盛況の中 15 時ぎりぎりまで実施した。

参加スタッフ 6 名

5. 日時 平成 24 年 11 月 17 日 (土) 14:00～18:00

場所 遠軽町 げんき 21

事業内容

オホーツク地域医療に関わる鍼灸師、柔道整復師、医師、その他の専門家を招き研鑽の場とし、広く一般市民へも紹介し地域住民への医療貢献を目的とした。

柔整師による症例発表、介護予防の取り組みについて

鍼灸師によるお灸について。鍼灸の無料体験。

医師による「婦人科疾患について」の講演

6. 日時 平成 25 年 1 月 20 日 (日) 11:00～15:00

場所 帯広市 とかちプラザ アトリウム・ギャラリー

事業内容

帯広商工会議所主催「にこにこ健康・福祉フェア 2013」

パネル展示 体験ブース設置、体験者 100 名

参加スタッフ 9 名

7. 日時 平成 25 年 2 月 16 日 (土) 17:00～18:30

場所 小樽マリンホール

事業内容

「救急救命時の対応と処置について」「AED の取扱いについて」

小樽消防署の救急救命士と救命隊員の 4 名により救急時の対応の知識と技術を学び、スキルアップを目的に公開講座を実施した。

救急救命士の方から講演をいただき、その後動作を確認しながら AED の取扱いの実技指導を受ける。一般参加者も会員と共に実技を実施し、有意義な内容で公開講座を修了した。

参加スタッフ 14 名

# 公益活動計画

1. 日時 平成25年3月31日(日) 10:00~14:00

場所 札幌サンプラザ

事業内容

『はり・きゅうでケア!あなたのいきいきスポーツライフ!』

目的 スポーツを健康的に継続するために鍼灸でケアすることが役立つことを市民に伝える

対象 一般市民 健康増進の為にスポーツを行っている方 アマチュア競技者

「スポーツ傷害とその予防~長くスポーツを楽しむために」

月寒東整形外科 院長 山本 英順

「生涯スポーツに求められる鍼灸師とは」

北海道メディカル・スポーツ専門学校 教員部長 常通 道夫

北海道メディカル・スポーツ専門学校 副校長

長野オリンピック個人・団体金メダリスト 船木 和喜

「パネルディスカッション」 医師・鍼灸師による討論

「鍼灸無料体験」

# 事業実施 報告書

(公社) 日本鍼灸師会 御中

(公社) 北海道鍼灸師会

事業 名称	スポーツ障害市民公開講座 鍼灸無料体験会	開 催 日 時	平成 25 年 3 月 31 日 (日) 10 時 00 分～13 時 00 分
開催 場所	札幌サンプラザ		
<p>事業内容</p> <p>◎<b>スポーツ障害市民公開講座</b></p> <p>『はり・きゅうでケア！あなたのいきいきスポーツライフ！』</p> <p>☆<b>講演Ⅰ</b> 講師 月寒東整形外科 院長 山本 英順先生</p> <p>年代別でスポーツの身体に与える影響と、ケガ予防方法を具体的に説明して頂き、疼痛緩和には鍼灸治療が有効である事を市民に伝えて頂きました。</p> <p>☆<b>講演Ⅱ</b> 講師 北海道メディカル・スポーツ専門学校 教務部長 常通 道夫先生 同校副校長 船木 和喜先生</p> <p>東洋医学の理論を市民向けに解りやすく説明して頂き、金メダリストである船木選手のコンディショニングで鍼灸治療が有効であった事等をお話しして頂きました。</p> <p>☆<b>パネルディスカッション【医師・鍼灸師による討論】</b></p> <p>鍼灸の現場では確実な診断を必要とする場合がある事や、病院現場では術後の疼痛ケアの必要性等を論じ、医療連携のできる鍼灸師が求められている事が解りました。今後より一層鍼灸師がスポーツ現場や市民生活に必要な職種だという事をお話しして頂きました。</p> <p>☆<b>無料体験会</b>では、2ブースから緊急に3ブースに増設し、鍼灸治療を初めて受ける方や、鍼灸院に通ってみたいと考えておられる方を対象に、長生灸やパイオネックスを用いて確実な安全性と治療後の効果を体験して頂き、より鍼灸普及活動の大切さを実感いたしました。</p> <p>主な参加者及び参加人数</p> <p>市民公開講座：一般市民・学生 100 名</p> <p>無料体験会 : 一般市民 20 名</p>			









# けが防止に休養大切

## 五輪金の船木さんが講演

運動に伴うけがの予防を考える講演会が、

札幌市内のホテルで開かれ、長野五輪スキージャンプの金メダリスト船木和喜さん(37)らが長くスポーツを楽しむ秘訣を伝授した。

北海道鍼灸師会の市民公開講座で3月31日に開催。現役で競技を続ける船木さんは1月、腰などの筋肉を痛めたことを振り返り、「疲労がたまった状態で例年と同じトレーニングをしたのが原因」と説明。「年々、確実に体力は衰える。自分の限界をきっちり認識

し休養をおろそかにしないことが、けがを防

ぐ」と強調した。月寒東整形外科(豊平区)の山本英順院長は、子供のころに幅広いスポーツをすることが成長後のけが予防に



スポーツのけが予防について語る船木さん(左)ら

つながると紹介した。  
(玉邑哲也)